



9月 Vol.2

朝晩など涼しくなってきましたが、また暑さがぶり返したりと季節の変わり目で気温の変化が大きくなっています。室温の調節などをこまめに行い、体調を崩さないようにご注意ください。

今月のトピックス～お肌の光老化、ご存じですか？

紫外線の暴露を繰り返すと、皮膚は乾燥して色は黒くなり、弾力性がなくなって「しわ・たるみ・しみ」が出来てきます。これが「光老化」という現象です。皮膚の老化の原因のうち、80%がこの光老化と言われています。

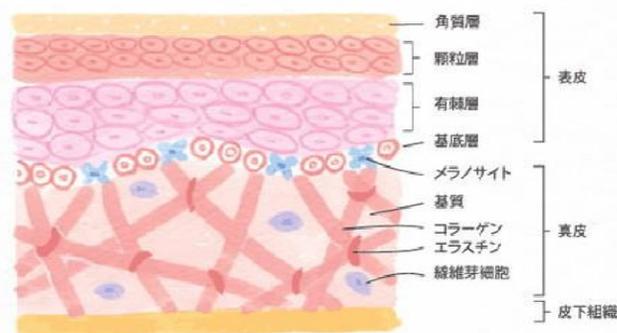
夏の間はこの紫外線を防ぐことが重要になってきます。日傘や帽子、長そでを着たりと物理的な方法で紫外線を防いだり、日焼け止めで科学的に防ぐ方法があります。しかしこれらの方法で100%紫外線を防ぐことは困難です。そのために紫外線を浴びた後のお肌のお手入れが重要になってきます。

紫外線には表皮にダメージを与えるUVBと、真皮にダメージを与えるUVAがあります。色素細胞（メラノサイト）は紫外線（UVB）を吸収する色素（メラニン）を作り、肌を守ろうとしますが、過剰に生産されると表皮細胞の中にたまり「しみ」の原因となります。「しみ」に対する治療は残念ながら、保険診療の適応ではありません。市販のクリームでメラニンの合成を抑制するものもあるようです。ビタミンCの内服も効果があると言われています。

また真皮では、**膠原線維（コラーゲン）**と**弾性線維（エラスチン）**が張りめぐらされ、肌をピンと張り、弾力が保たれていますが、UVAを浴び続けると、これらが変成して本来の構造が損なわれ、「しわ」が発生します。

真皮の線維間には**基質**といって水分をはじめ電解質やタンパク質、炭水化物のような皮膚の新陳代謝に必要な成分がゼリー状の液体としてつまっています。このなかの**代表的な成分として、酸性ムコ多糖類であるヒアルロン酸やコンドロイチン硫酸、ヘパリンなどがあります。**これらの成分を含んだクリームがうまく吸収され真皮まで届けば、皮膚を活性化することができ、「しわ・たるみ」を改善する効果が期待できます。現在はヒアルロン酸やコラーゲンを含んだクリームなどが市販されていますが、医療用のものはありません。ヘパリン様物質を主成分とするクリームは医療用のものがありますが、保険適応がありません。すべての方に処方できるとは限りません。

これらは直接肌からの吸収を期待して投与されますが、それ以外にもからだの内から皮膚の老化を防ぐ方法もあります。それはプラセンタによる肌の老化防止効果です。これも保険適応ではありませんが、当クリニックではプラセンタの多様な効能効果を期待して、患者様にお勧めしています。プラセンタをご希望の方やご質問のある方は、遠慮なくスタッフまでお声掛けください。院長から**プラセンタの効能**などご説明します。



皮膚の構造(模式図)

今月のお知らせ

10月から消費税が10%になります。外税にしているプラセンタリキッドは少しだけ値上がりとなります。増税前のご購入をお勧めします。

プラセンタリキッド

ゴールド 定価15000円 ⇒30%off 税込で11340円 10月から11550円

プラチナ 定価18000円 ⇒30%off 税込で13608円 10月から13860円

臨時休診のお知らせ：9月7日土曜 午後のみ休診となります